(1)

特色ないのがかりかき相見え
而らして「困ト、やる

(2)

寛にして人を傷け邪推する性情は吃驚いたし申候
書は従来貴下に同人たる迄この築に始め、美せられたる事
実明白なり。疑心暗鬼なる人を傷けるは宜しからず。其
の種類は、それだけなれど、それに依りて同人の性情の上
グメするを表して明にせしのみ。左りとて同人の性情は聞き
に入れ申候。十分の同情なる批評を附せられし為に甘へ
ては聞きに入れしのみ。宣は他人に読ませんや
「困ト、やる」の批評は何かしらたしなけれども、何か。横[illegible]な
きに苦しみ居り申候。併しながら先生に対する好評は
従来と同じ十分に聞かれて嬉しく思ひます。それは変換
郎になさかまがやっかいな同氏の善い処に感心せる次第
に候。来月(十日)号の「新潮」に「寂子の技巧」と題し
て書き所見を求め居り、その節も読まるれば
座候。大きに乱筆で草々

十月十四日夜

秋江

島田兄
机下

明日は居宅を訪問する約束に御座候

牛込区矢来町四十七
徳田秋江
十月十四日夜